

令和5年度第4回経営協議会議事要録

日 時 : 令和5年11月15日(水) 15:30 ~ 16:00

場 所 : 熊本大学事務局棟1階大会議室 ほか

出席者 : 小川 久雄、富澤 一仁、大谷 順、宇佐川 毅、水元 豊文、黒沼 一郎、
馬場 秀夫、赤木 由美、秋池 玲子、Oussouby Sacko、木下 統晴、
倉津 純一、後藤 芳一、原 幸代子、村田 信一、本松 賢

欠席者 : 笠原 慶久、田嶋 徹

陪 席 : 宮尾 千加子、渡辺 啓子、立石 和裕、金岡 省吾、岸田 光代、藤田 豊、
連川 貞弘、尾池 雄一

○ 新任委員等の紹介

議長から、参考資料に基づき、新任委員(黒沼 一郎 理事・事務局長)の紹介があった。

報告連絡

1. 寄附講座の更新について

議長から、資料1に基づき、次のとおり寄附講座の更新について報告があった。

○ 病院「消化器癌先端治療開発学寄附講座」の設置期間更新

更新期間 : 令和5年10月1日 ~ 令和10年9月30日(5年間の期間更新)

寄 附 者 : 医療法人社団鶴友会鶴田病院 ほか

2. 共同研究講座の一部変更について

議長から、資料2に基づき、次のとおり共同研究講座の一部変更を行うこととなった旨報告があった。

○ 産業ナノマテリアル研究所「ワンタイムエナジー共同研究講座」の一部変更

変更内容 : 寄附金額を総額3億2,876万円に変更(1億9,344万円増額)

3. 令和5年度上半期資金運用報告について

黒沼理事から、資料3に基づき、令和5年度上半期資金運用について報告があった後、種々意見交換が行われた。

(意見交換の概要は次のとおり。◇は委員からの質問・意見、◆はそれに対する回答等)

◇ 資金運用の利回りはこの水準しかないのか。運用をめぐる裁量の余地が全くないなら別として、余地があるのに安全策では不作為にならないか。当方の勤務する財団も、運用では適切な

利益を得るよう努めている。リスクが生じうることについては、資産運用の外部専門家からなる委員会を設けて、対外的に説明できるリスクマネジメント体制をとっている。

- ◆ 国立大学法人が行う資金運用については、国立大学法人法に基づく認定基準に応じて取扱いが可能となる金融商品の種別や要件等が定められており、それらの認定を受けるためには、各基準に応じた管理体制の整備が求められる。現状、本学の基準は第1であり、貯金や決済用の外貨預金、無担保社債等に限定した自家運用しかできない。一方で、外部有識者等が入った資金運用管理委員会の設置などの体制整備を行うことで、より運用収益を意識した上位の認定基準を得ることができる。現在、上位の認定基準の取得については検討中である。

4. 令和4事業年度財務諸表の承認について

議長から、令和4事業年度財務諸表について、8月31日付けで文部科学大臣から承認された旨報告があった。

次いで黒沼理事から、資料4-1・4-2に基づき、各財務指標の分析結果等について説明があった後、種々意見交換が行われた。

(意見交換の概要は次のとおり。◇は委員からの質問・意見)

- ◇ 財務指標の推移について、外部資金費率が上昇していることは大変すばらしい。ぜひ今後もこの方向性で頑張ってください。

5. 災害に伴う入学検定料、入学料及び授業料免除の実施について

宇佐川理事から、資料5に基づき、令和5年石川県能登地方を震源とする地震外6件の災害により被災した学生への入学検定料等の免除に関する特別措置の実施を決定した旨報告があった。

以 上

○ 次回開催 : 令和6年1月18日(木)

<配布資料>

- 参考資料 国立大学法人熊本大学経営協議会名簿
- 資料 1 寄附講座の更新について ほか
- 資料 2 共同研究講座の一部変更について ほか
- 資料 3 令和5年度上半期資金運用実績報告 ほか
- 資料 4-1 令和4事業年度財務諸表の承認について(通知)
- 資料 4-2 財務分析(財務指標の推移)〈令和4事業年度〉
- 資料 5 災害に伴う入学検定料、入学料及び授業料免除の実施について